



てだこのまち
URASOE

市制施行 50 周年
50 年の時を超え、一歩また未来へ、浦添市

第 2 回 庁内会議

~SIMULATION うらそえ 2030~

浦添市の財政について

少子高齢化、扶助費の増、認知症対策など全国的な課題はある。浦添市では、浦添市民体育館建設、令和 5 年度から建設工事の始まる新クリーンセンター等の大きな事業が今後予定されている。今後も厳しい財政状況が続くことが予想されているため、引き続き健全な財政運営に務める必要がある。

終了時アンケート

SIMULATION うらそえ 2030 の後にアンケートを行った。

- ・ シナリオが長いと感じた
- ・ 優先の付けの難しさがあった。
- ・ まちづくりでは、「どんなまちにしたいか考えを持つ必要がある」と思った。
- ・ 老人にやさしいまちにするのか、文化を大切なまちにするのかなど、1 つの方向性を決めて置かなければ、その時々で政策がコロコロ変わってしまう。
- ・ 多くの職員に参加させたほうがいい。
- ・ 全体を見て仕事をする必要がある。
- ・ 財政的に厳しい状況の中で、需要が生じた事業を加えないといけない。その分必要とされる経費を確保するための取捨選択は重要な作業と思いました。
- ・ カードゲームでシミュレーションできるのは面白かった。



SIMULATION うらそえ 2030

SIMULATION2030 とは、熊本県町の自主研究グループ「くまもと SMILE ネット」が自主開発した 2030 年までの予算編成を体験する「対話型自治体経営シミュレーションゲーム」である。今後直面する課題について対話の中で解決策・方向性を導き出していくゲームである。今回、SIMULATION2030 の浦添版「SIMULATION うらそえ 2030」を作成し庁内会議の中でワークショップを行った。

ネタバレになりそうなので内容については省略するが、

新たに必要経費が生じた場合に、みんなで「対話」を通じて「合意形成」を行い「納得」する「政策選択」を導き出す。その後、「政策選択」について、議会等への「説明責任」を果たす。このプロセスを通して「対立」を「対話」で乗り換えることを学びます。（詳細については、わくわく 3 回目の報告に記載します。）

次回予告

① 市民アンケートの結果 ② 政策立案について

日程についてはわくわく 3 回目後（11 月 21 日）に周知を行いたいと思います。